

第5節 普及事業

美術への関心を深め、鑑賞の眼を養い、また、創造への誘いの場となるよう各種の教育普及事業を行った。各事業とも回を重ねる毎に参加者が増大し、開かれた美術館として、また、将来への美術館活動の展望の中で、大きな柱として定着しつつある。それらの概要は、次のとおりである。

1 講演会の開催

(1) 定期講演会

- ① 「アンドリュウ・ワイエスの芸術」
5月5日(130人入場)
講師 桑原住雄 武蔵野美術大学教授
- ② 「詩のなかの住まい・絵のなかの家」
9月15日(150人入場)
講師 芳賀徹 東京大学教授
- ③ 「日本美術の特性」
11月23日(250人入場)
講師 河北倫明 京都国立近代美術館長

(2) 企画展講演会

- ① 「川端龍子の芸術」
4月21日(120人入場)
講師 細野正信 東京国立博物館主任研究官
- ② 「ミレーとバルビゾンの画家たち」
6月30日(210人入場)
講師 大島清次 美術評論家
- ③ 「公開対談 斎藤清氏に聞く」
9月1日(250人入場)
ゲスト 斎藤清 画家
聞き手 原田実 福島県立美術館長

2 映画会の開催

- ① 「鉄道員」
5月19日(170人入場)
- ② 「道」
6月29日(150人入場)
- ③ 「死刑台のエレベーター」
7月26日(300人入場)
- ④ 「西遊記」
8月25日(140人入場)
- ⑤ 「市民ケーン」
10月27日(220人入場)
- ⑥ 「旅愁」
11月10日(220人入場)
- ⑦ 「凱旋門」
12月1日(300人入場)
- ⑧ 「望郷」
2月16日(410人入場)
- ⑨ 「心の旅路」
3月16日(390人入場)

3 実技講座の開催

(1) 親子の美術教室

[1日コース]

- ① 「紙で遊ぶ—身近にある紙材を使って—」
(小学生と保護者12組) 6月23日
- ② 「木を使って」
(小学・中高学年生と保護者12組) 9月23日
- ③ 「年賀状版画を作る」
(小学生と保護者12組) 11月17日

講師 佐久間敬 福島大学助教授
[夏休み半日コース]

- ① 「粘土で作る」

(小学1、2年生と保護者12組) 8月2日

- ② 「夢の世界を描く」
(小学3、4年生と保護者12組) 8月3日

- ③ 「仮面を作る」
(小学5、6年生と保護者12組) 8月4日

講師 梶田幸恵 宮城教育大学助教授

(2) 実技教室

- ① 「油絵教室—静物を描く—」一般初心者対象(16人)
(5月12日～6月9日の各日曜日連続5回)

講師 梅宮英亮 福島大学助教授

- ② 「木版の多様な表現」一般初心者対象(15人)
(6月29日～7月27日の各土曜日連続5回)

講師 丸山浩司 福島大学講師

- ③ 「陶芸教室—絵つけ—」一般初心者対象(20人)
(7月7日 1日コース)

講師 多田敬一 陶芸家

- ④ 「彫刻教室—頭像の制作—」一般初心者対象(15人)
(9月29日～10月27日の各日曜日連続5回)

講師 白沢菊夫 福島大学助教授

- ⑤ 「油絵教室—静物など—」一般初心者対象(16人)
(11月9日～12月7日の各土曜日連続5回)

講師 渡辺良雄 福島女子短期大学教授

- ⑥ 「ヘラ彫金教室」一般初心者対象(15人)
(2月23日 1日コース)

講師 野中定 美術館主任学芸員

- ⑦ 「七宝焼教室—初級—」一般初心者対象(15人×2回)
(3月9日、16日 1日コース)

講師 野中定 美術館主任学芸員

- ⑧ 「七宝焼教室—中級—」一般経験者対象(14人)
(3月23日 1日コース)

講師 水落佑子 七宝作家

(3) 公開制作

- ① 「エアブラシの技法」
(6月15日、16日) 180人入場

講師 森秀雄 一陽会会員

- ② 「フレスコ画の技法」
(9月7日、8日) 100人入場

講師 三野哲二 フレスコ画家

4 美術鑑賞講座の開催

(1) 第1期 <日本美術の流れI (彫塑)>

- ① 出会いと憧憬—飛鳥・白鳳時代— 4月13日
(40人受講)

- ② 天平の華 —奈良時代— 4月27日
(40人受講)

- ③ 貴族の夢 —平安時代— 5月11日
(35人受講)

- ④ 信仰のリアリズム —鎌倉時代— 5月25日
(30人受講)

講師 村田真宏 美術館学芸員
<美術アラクルト>

- ⑤ 絵巻をさぐる —信貴山縁起絵巻の人々— 6月8日